



募金事業開始式に集まった参加者ら
(中央はおけいの墓)

【主要観光地の人出予想】(単位:千人)

	07年
磐梯山・裏磐梯周辺	
鶴ヶ城周辺	
磐梯吾妻スカイライン周辺	
あぶくま洞周辺	
須賀川牡丹園	



バケツに入った稚アユを放流
=矢野

東北地方で最も早くアユ漁が解禁となる矢野町の久慈川で二十三日、約十七万匹の稚アユ放流が始まった。放流は、六月三日の釣り解禁日に合わせて五月上旬まで行われる。

この日の水温は約一三度。体長二一一六センチほどの稚アユ五百匹、約五万匹を放流した。解禁までに二〇匹ほどに成長するとみられている。

矢野町付近では、同町と久慈川第一漁業協同組合の関係者や、内川、関岡両小児童ら約八十人が参加し、約七十匹、七千匹を放流した。児童らは、稚アユの入ったバケツを川に浸し、伸び伸びと泳ぎ出す姿を見送った。

松鶴
福島片岡鶴太郎美
告兆
告兆松屋
TEL:024-542-

全閉せずプラントを手動停止した問題で、東京電力は二十三日、弁を閉める部品が摩耗で外れたのが原因と発表した。

東電によると、過去の定期検査の弁分解点検の際に調整や手入れの管理が不十分だったため、摩耗が進行したとみている。

流出したのはこの警部補が愛知署刑事課勤務の時に作成した捜査資料。警部補は

米カリフォルニア「若松コロニー」跡地

「おけいの墓」公園化へ

現地のNPO 土地購入へ募金開始

【米カリフォルニア州 羅府新報・大西良子記者】
米カリフォルニア州サクラメント郊外にある会津若松ゆかりの「おけいの墓」を含む若松コロニー跡地で二十一日(現地時間二十一日)、自然保護NPO団体

による募金活動「ゴールドヒル牧場―若松コロニー事業」の開始式が行われた。式には地主のピアカンブ一家のほか、州公園局やエルドランド郡などの自治体関係者、地元議員、在サンフランシスコ日本国総領事館主

席領事ら約百人が出席した。式典は跡地に隣接するゴールド・トレイル小の児童が日本語で「春が来た」を歌う和気あいあいとした雰囲気

で幕開け。募金活動の説明や公園予定地内の散策のほか、若松コロニー時代の家屋「グラナー・ハウス」も公開された。

米国内の募金活動の主体

いわき市出身の小田隆史さん(同総領事館専門調査員)も出席した。



若松コロニー時代に根付いたとされるケヤキの前で
ピアカンブ一家の長男のフィリップさん、長女のエブリンさん、二男のゲリーさん(左から)

日系人の悲願に理解 地主一家

地主のピアカンブ家長男のフィリップさんは「数年前に会津若松を訪問した際には、人々の温かさに触れ感動した。父が守り、代々受け継いできた牧場を手放すのは大変な決意だった。

以前、墓を含む土地売却の申し入れを父が断った。今になって、申し入れたのは

河内さんの祖父(井関市作氏)と分かった」と話し、墓を含む牧場の公有地化が日系人の長年の悲願だったことに理解を示した。

ARCは約百二十一畝の土地購入資金約五億五千万円のうち、約三億円を募金で集める予定。残る二億五

千円は州政府の補助金を

充てる方針。ロサンゼルス

の日系新聞社「羅府新報」は今月から、読者などからの小切手の寄託受け付けを始めた。十一月中旬まで。

若松コロニーは、一八六九(明治二)年に日本人で初めて北米に移住した農

捜査資料がネット流出

愛知県警春日井署の男性警部補(57)が以前、仕事で使っていた私用パソコン

料がインターネット上に流出していたことが23日、県警の調べで分かった。